

「フライブルグ市の交通政策と持続可能な未来交通」 講演会のお知らせ

ガソリンが1Lあたり260円を越えているドイツ。そのドイツで「環境首都」と呼ばれ、数々の画期的な政策を打ち出しているフライブルグのまち。このまちでは多くの市民がマイカーに頼らず、鉄道～市電～バス～自転車そして徒歩という手段をシームレスに乗り継ぎ、安価で安全な移動の自由を手に入れています。人口規模こそやや違いますが北海道、私たちのまちでもきっと参考になること請け合いです。一般市民の方はもちろんですが交通行政に関わっている方、鉄道、バス会社の方の参加も大歓迎です。私たちのまちの交通の未来像を一緒に考えてみませんか。

主催 クルマ社会を問い直す会

日時 平成20年11月8日(土) 15:00～17:30

場所 札幌市立大学 サテライトキャンパス

〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命札幌ビル5階

011-218-7500

地下鉄 さっぽろ駅徒歩1分、JR札幌駅徒歩4分、地下鉄大通駅徒歩7分

資料代 500円

問合先 クルマ社会を問い直す会 北海道地域活動連絡係 中村欣嗣(よしあき)まで。

TEL & FAX 0126-23-0268

Eメール nykarch@juno.ocn.ne.jp

講師紹介

村上 敦(むらかみ・あつし)

1971年岐阜県高山市生まれ。渡独後11年間に渡って、ドイツとフライブルグ市の環境政策や取り組み、とりわけ「交通」や「まちづくり」について調査を続け、執筆活動を行う。

NPO法人エコロジーオンラインでのフライブルグレポート (www.eco-online.org/german-eco/)

日経BP未来生活 (<http://premium.nikkeibp.co.jp/mirai/index.shtml>)

環境省によるRe Style (<http://www.re-style.jp/bknbr/waou/01.html>)

日経BP ECOJAPAN (http://www.nikkeibp.co.jp/style/eco/report/071127_freiburg01/)

(http://www.nikkeibp.co.jp/style/eco/report/071204_freiburg02/)

GoodNewsJapan (<http://goodnews-japan.net/news/team-80/2008/06/18/101>)

などWEB媒体だけでなく、各種新聞、雑誌などにおいて執筆活動を行う。

翻訳書：『エコロジーだけが経済を救う(洋泉社)』

著書：『カーシェアリングが地球を救う(洋泉社)』

<http://www.amazon.co.jp/exec/obidos/ASIN/4896918665/qid%3D1101381875/250-7438683-8941061>

オンライン&オンデマンド出版著書：『フライブルグ市のエネルギー政策(EOL-WAYS)』

http://www.eolways.jp/book/freiburg_report/index.html

「フライブルグのまちづくり」- ソーシャル・エコロジー住宅地ヴォーバン -

環境先進国ドイツで最も野心的なサステナブルコミュニティを実現した住民たちの挑戦。徹底した省エネと自然エネルギーの利用でエネルギー消費とCO2排出を激減させ、画期的なマイカー抑制策で車のないまちを実現。数々の輝かしい取り組みを住民主導で成功に導いた軌跡に迫る。

(学芸出版) 2600円 + 税 (→2730円)

<http://www.gakugei-pub.jp/mokuroku/book/ISBN978-4-7615-2419-7.htm>

HP：「環境ジャーナリスト・村上敦のページ」

<http://murakamiatsushi.de/>